

市民セクターが挑む

社会的孤立の抑制・解消への道程

第16回 中間支援組織と政策課題(仮)

3月31日(木) 午後7時～9時半

市民活動現場での実践者や専門の研究者をゲストスピーカーとしてお招きし、参加者との対話を通じて、学びと現実の活動へのフィードバックを深める「市民セクターの次の10年を考える研究会」。16回目となる今回は、ボランティア・NPOが活動する上でぜひとも知っておきたい国の政策とその展望、現場との関連や着目すべき点などについて考察します。

○講師 <実践者>大西 連さん

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい理事長
内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与

<実践者>実吉 威さん

公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団専務理事
認定NPO法人 市民活動センター神戸 (KEC) 理事・事務局長

<モデレーター>岡本 仁宏 (ボランティアリズム研究所長)

関西学院大学法学部教授 (西洋政治思想史、NPO/NGO 論、
政治哲学)

※QRコードをお読み取りください

<銀行振り込みの方>

- ・一般 2,500 円/人
- ・当協会個人会員、
パートナー登録団体
2,000 円/人



※振込手数料はご負担ください

※申し込み受け付け後に参加費振込先
をご案内します

参加費・申込方法

<クレジット、コンビニ払いの方>

- ・一般 2,750 円/人
- ・当協会個人会員、
パートナー登録団体
2,200 円/人



※クレジット、コンビニ払いの方は
Peatix 利用手数料を含みます

※お1人ずつお申し込みください (1人
分で複数人視聴はしないでください)

主催：(福)大阪ボランティア協会・ボランティアリズム研究所